

特別研修会

歯科医師と歯科技工士とのコラボレーション

講師：行田 克則（東京都開業）

講師：小田中康裕（有限会社バーレーン、歯科技工士）

日時：平成21年5月18日(月)

場所：東京ステーションコンファレンス



笛木 貴（群馬県）

平成21年5月18日に日本インプラント臨床研究会特別研修会が東京ステーションコンファレンスにて行われた。

今回の特別研修会には全国から56人の会員、勤務する歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士が参加した。今回の特別研修会は、歯肉と調和した審美補綴に精通されている東京都開業の行田克則先生と歯科技工士の有限会社バーレーン 小田中康裕氏をお招きして、「歯科医師と歯科技工士とのコラボレーション」という演題でご講演いただいた。

行田先生は、天然歯における歯肉退縮の原因の多くはオーバーブラッシングであり、先ずはこれに対して歯科衛生士を通じて適切に指導することが重要と述べた。またこのような症例に安易なCTGやFGGを行う事への警鐘を鳴らした。

審美補綴においては、そのマージン形成を歯肉溝までの範囲にとどめ、歯肉溝底から歯槽骨頂までのいわゆる“生物学的幅径 (Biologic Width)”にはマージンを設定してはならないというのが通説である。しかし行田先生は生物学的幅径については定義がいまいであることから、生物学的幅径にとらわれないマージン設定を行っている。

具体的には、生物学的幅径には歯冠よりの上皮性付着と根尖よりの繊維性付着があり、歯肉溝は通常0.69mmといわれているが、臨床のプロベリングではこのような浅い数値になる事はほとんどなく、臨床のプロベリングではその先端は上皮性付着と繊維性付着の境界部から0.5mmほど歯冠よりのところで止まる。したがって深い繊維性付着は介入してはな

らないが、上皮付着の範囲であればこの部までマージン設定は可能であり、この位置から圧排糸の直径程度歯冠よりのところの歯肉縁下までマージンを設定するのが妥当としている。

そしてクラウンのマージン部から歯肉頂上までの部分をアンダーカントゥアに、そこから立ち上がるところをややオーバーカントゥアにしたエスシェイプとよばれる形態を作った十分にグレーズされたセラミックが入ることで、上皮とのヘミデスマゾーム様の付着が期待できることにより、歯肉と調和した審美補綴を完成させている。

行田先生は天然歯の保存にこだわる事が当然である事を前提として、インプラントに関する審美補綴を成功させるためのポイントとして、インプラント周囲特に唇側の骨がしっかり残っているようにすること、インプラント間を3mm以上あけることよりもフィクスチャーレベルより上まで骨があがっているかが重要であると述べた。

これに続き小田中氏が歯科技工士としてのエスシェイプの実際と、審美的インプラント上部構造の実際について講演した。

隣接関係には、①天然歯同士、②インプラントと天然歯、③インプラント同士の3種類があり、④インプラント同士の隣接関係における下部鼓形空隙を満たすのが最も難しいとされている。このインプラント同士の隣接関係における下部鼓形空隙を満たすために

1. ロングコンタクトにする
2. やや歯冠幅を広くして隣接をラッピング（重な

り合うように)する

3. 乱排列にならないくらいやや捻転させた排列にする

4. ハーフポンティックにする

以上のようなポイントを適宜複合的に利用する事を提示した。

また小田中氏はカスタムアバットメントにおける考察として

1. カスタムアバットメントのクラウンマージンラインは歯肉縁下深めに設定し、適正な歯肉縁下カントウアは、なるべくクラウンにて再現させるようにする。こうすることによって歯肉退縮にも対応しやすく、エマージェンスプロファイルの修正が楽になる

2. セラミックアバットメントでのエマージェンス

プロファイルの修正は難しい

3. セラミックアバットメントのクラウンマージンラインを深くすれば、歯肉にメタルが透けることによって生じるシャドウ防止などのセラミックを使用する意味が少なくなる

4. セラミックアバットメントのクラウンマージンラインを深くすれば、その強度が落ちてしまうなどを挙げ、メタルによるカスタムアバットメントの有用性を述べた。

審美歯科は「やりました、ハイ終わりではなく、5年、10年以上の長期予後を提示していく事が重要」と行田先生が力説されていたことが印象的であり、行田先生の臨床にかける熱い想いを十分に感じ取れた大変内容の濃い講演会でした。

平成 22 年度 [年間行事予定]

※講師の都合等で予定が変更される場合があることをご了承下さい。

月 日	行 事	月 日	行 事
3月 7日(日)	定例研修会	8月22日(日)	特別研修会
3月28日(日)	ケースプレゼンテーション発表予演会 および 専門医取得および専門医更新説明会	9月17日(金)~19日(日)	第40回(社)日本口腔インプラント学会・学術大会 第30回 東北・北海道支部総会・学術大会併催(札幌)
4月 4日(日)	新人発表会	10月17日(日)	定例研修会
5月23日(日)	特別研修会 Dr. ポー・リン(台湾歯周病学会会長)	12月 4日(土)	総会・特別講演会・忘年会
7月18日(日)~19日(月)	第5回全員発表研修会		

(社)日本口腔インプラント学会認定講習会 2010年度日程

開催日	講 師	会 場
4月 17日(土)	大田善秋先生、眞田浩一先生	日本大学
4月 18日(日)	宮崎 隆先生、井汲周治先生	松風
5月 29日(土)	井出吉信先生、井上孝先生	松風
5月 30日(日)	和泉雄一先生、小田茂先生	松風
6月 26日(土)	西堀雅一先生	松風
6月 27日(日)	田中譲治先生	松風
7月 10日(土)	永田省蔵先生	未定
7月 11日(日)	柏井伸子先生、木村健二先生	未定
8月 28日(土)	下川公一先生	松風
8月 29日(日)	月星光博先生	松風
9月 11日(土)	中野喜右人先生、坂根清文先生	新宿 NS ビル 3F 304 号室
9月 12日(日)	覚本嘉美先生	日本メディカルマテリアル 7F
10月 23日(土)	中村社綱先生	松風
10月 24日(日)	中村社綱先生	松風
10月 31日(日)	大塚隆先生	アストラテックジャパン
11月 20日(土)	林楊春先生	未定
11月 21日(日)	井汲憲治先生	ノーベルバイオケア

※会員の方も1日1万円で再受講できます。(実習を除く)